

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	423 狂犬病予防経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	14 感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	目	01	保健衛生総務費
		細目	239	保健衛生事務経費
		細々目	03	狂犬病予防経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 553000 名称 伊賀支所住民福祉課	担当者 氏名	中川 貴裕	連絡先 45 - 9104 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	生後91日以上経過した犬の飼い主	※対象件数
成果(どうする)	狂犬病の発生を防ぎ、住民被害を未然に防ぐ	
根拠法令・要綱等	狂犬病予防法	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業 内容	4月21日、22日の両日で、狂犬病予防注射を実施 登録者へ、狂犬病予防注射の案内を発送 犬の登録事務 迷い犬のデータ調査 飼育マナー向上のための啓発	
社会情勢 の変化等	高齢化により、犬を飼えなくなるケースが増えている	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
狂犬病予防注射(集合注射)	目標		600	600	600	600
	実績		512	512		
狂犬病予防注射案内はがき発送	目標	通	1000	900	900	900
	実績		859	866		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
狂犬病予防注射実施率(集合注射)		登録犬を分母とし、注射頭数を分子とする狂犬病予防注射率を指標とした	%	目標 60 実績 59	目標 60 実績 59	60	60
				目標 実績	目標 実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	61	60	70	70
	県支出金				
	地方債				
	その他	61	60	70	70
	一般財源	0	0	0	0
事業投入人件費(B)		0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
フルコスト(A)+(B)		1,501	1,500	1,510	1,510

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
達成度	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
効率性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。		
昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	当初設定した計画を	60%以上80%未満	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】
	集合注射については減少しているが、開業医での接種が多い。		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
改善策	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。		○
昨年度 の取組状況	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	【状況】	計画のとおり進んでいる	
	【詳細】		
	未登録犬については、ちらし、パンフレット等で啓発を行い、地元住民の情報提供を受けて飼主への指導を行っている。		

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中林 千春
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 行政による畜犬の登録管理と狂犬病予防のため、これまでどおり登録管理と集合注射を実施していく。
現時点における課題、その他	畜犬の登録台帳の整理。
課題、その他に対する改善策	未登録の飼い主への啓発と予防接種の周知に努める。また、23年度から超高齢犬について生死の確認作業を進める。
(いつまでに、何を、どうする)	